

ベトナム・カンティウイ町における貧困問題と社会保障制度 ～戦後日本の制度化過程から学ぶ～

I. はじめに

研究の目的

1986年12月ベトナムの共産党大会にドイモイ（刷新）政策を導入した。その政策は ①社会主義路線の変更 ②産業政策の見直し ③市場経済の導入 ④国際協力への参画という4つの大切な方針があった。十年間戦争が終わってベトナムの平和や国民の安定な生活を向上するため、第五次五ヵ年計画でドイモイの結果を持続して1992年第4回目憲法を制定して、2001年改正した。ドイモイから国家・国民は新しい舞台に向かって平和時代や社会主義市場経済向上に行く。憲法第3条¹により、国家は国民の裕福・自由・幸福な生活を保障と定める。

人間は生存を脅かされたり、尊厳を冒されることなく創造的な生活を営むべき存在であると信じています。「人間の安全保障」とは、比較的新しい言葉ですが、私はこれを、人間の存在、生活、尊厳を脅かすあらゆる種類の脅威を包括的に捉え、これらに対する取り組みを強化するという考え方であると理解しております。（アマルティア・セン）

第50条「ベトナム社会主義共和国において、政治的、市民的、経済的、文化的、社会的な人権は尊重され、それは市民の権利の中に体现され、憲法と法によって定める。」²

第51条「市民の権利は、市民の義務と不可分である。国家は、市民の権利を保障し、市民は国家と社会にたいする自らの義務を果たさなければならない。市民の権利及び義務は、憲法と法によって定める。」³

国民の権利・国民の裕福な生活を保障するのは憲法と法によって定めるが長い間戦争のため、今年丁度30年間平和を経て、国民の貧困生活がまだ直面している。また、世界経済大国と言われる日本は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という憲法25条で書いてある。しかもまだホームレスの高齢者や中年の貧しい人々が少なくない。発展国から開発途上国までどこでも貧しい人々がいる、したがってどのように人々の安定・裕福な生活を保障出来るかを研究したいと思う。

ベトナムは30年間戦争が終わって、約20年間改革したが2002年の貧困率は11%を占めている。その上、地方とは貧富格差が大きくて、国家から権利を受けられるレベルも異なる。特に北部山岳・中部沿岸北部・メコン河デルタにおける貧困率が高い。学校に行けない事や学校で続く勉強出来ない子供が多く、食糧が足りない世帯も多く、また社会的な文明や文化的な生活が見えない人々が多い。

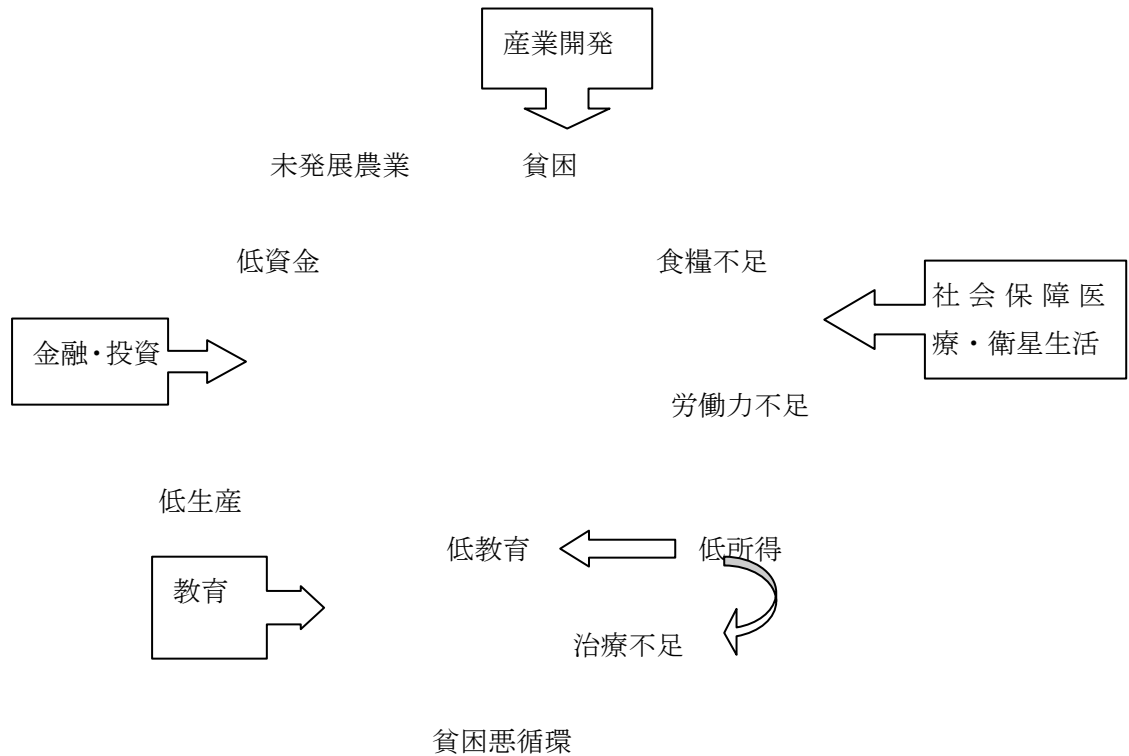
¹ベトナム国憲法第3条（2001年改正）

²ベトナム国憲法第50条（1992年改定）

³ベトナム国憲法第51条（1992年改定）

人類の進歩は運送機の歩みからみると、最初は歩く⇒自転車⇒バイク⇒車⇒飛行機⇒宇宙船までに発展して来た。その内に開発途上国は今大部分“バイク”のところまで移って来て、発展国は現在宇宙船までに行ける。この運送機の歩みを見ると簡単に両世界の格差が分かるでしょう。その格差を減少するために発展国が資金を出して支援や援助していた。

しかし生活はそういう簡単な事ではなく開発途上諸国における様々な問題が悪循環になっている。その悪循環を脱出するために大きなエネルギーが必要である。



貧困は様々な原因があるが戦争・天災・危機等の主なものと思う。しかし地方によってその原因や表示が異なるので解決方法も地方の特徴に対する対策を検討しなければなりません。ベトナムの北中部における小さいベトナムと言われて Thanh Hoa 省での状況を研究すると決まった。Thanh Hoa 省は山や海や盆地があるという特徴で、人口は全国の2位、2002 年対 GDP 一人あたりは 766USD に経った。Thanh Hoa 市から 70km 離れて山岳におけるカンティウイ町 (Cam Thuy) を研究対象になった。そこの貧困問題や潜在資源を研究して地域経済政策や社会保障制度はどのように作成したら人々の生活を保障出来て、地域も活性化出来ると考察する。

1, 2 WB 統計数 2002 年

3 Thanh Hoa 省人民委員会・貧困削減課の統計数 2001 年

以前国民年金制度や社会保障制度を改善するための研究を中心したが国の経済状況や貧困問題を理解して、現在ベトナム人にとっては何にか必要かを充分分かって来た。未発展な農業経済の内に食糧貧困の

11%や総合貧困は29%¹を占めた。その上地方における貧困問題がもっと高かった。全国三位の中部沿岸北部における貧困率は18%²（2001年）その内 Thanh Hoa 省は13.72%³を占めた。Thanh Hoa の各地域の内訳は都市：8.52%・平野：18.52%・山岳：38.42%を占めた。研究対象 Cam Thuy 県の貧困率は25.3%を占めた。19世紀貧困観が「個人の問題としての貧困」から「社会問題としての貧困・「道徳的かつ個人的貧困観」から「経済的かつ環境的貧困観」へ転換した。しかし貧困者として私は自助が大切だと思っている。「Self-help before God help」先ず自分の責任と自分で自分の力や他人から受ける支援を効果に使うって貧困を脱出することが必要である。その結果、個人から地方まで、地方から国まで自立して貧困を乗り越える。その意識がなければ「外国援助民族対立」⁴出来ないだろう。また、発展国には対発展途上国の支援は「魚をあげないで釣り道具をあげなさい」⁵。従って私たちは先進国としての日本で釣り方を研究して自国にとって適当な仕方を実施する。愛があれば意志があり、意志があれば団結して国の良い将来を迎えられる。

その気持が持っている私は日本あるいは長野県の事を研究して自国のために適当な対策を考察する。

研究の方法

貧困に関する定義・概念

貧困に関する定義が様々であるから数字だけで判断すると適当ではない。各国政府・各援助機関によって貧困の概念や貧困に対する評価も異なる。そのため貧困率や貧困線が異なる。

各援助機関の定義・概念

・人間が人間としての基礎的生活を送るための潜在能力を発揮する機会が剥奪されており、併せて社会や開発プロセスから除外されている状態。（JICAにおける貧困の定義）⁶

・一人当り年間所得が生活に必要な最低限度以下を貧困としたものと、UNDP が途上国の人々の生活質に注目し、主に社会指標を元に策定した人間開発指数を基準とした「人間貧困」等がある。⁷

・WB は貧困を一人当り年間所得 370 ドル以下、また 275 ドル以下を「極度の貧困」と定義する。⁸

・DAC は一人当り所得が年間 370 ドル、また一日 1 ドル以下が貧困であると定義する。⁹

ベトナムの貧困概念は世界的な方法⁹から計算して食糧貧困線や総合貧困線を分ける。1993年に行って VLSS 調査（Vietnam Living Standard Survey）により食糧貧困は一人当たり年間が 749,723VND（US\$68）以下が貧困である。1998年には1,287,000VND（US\$92）、2002年は1,381,000VNDの以下が貧困である。1993年総合貧困は一人当たり年間1,160,363VND（US\$105）、1998年は1,788,000VND（US\$128）、2002年は1,915,000VND（US\$127）の以下が総合貧困になる。

⁴William Easterly 南の貧困と闘う

⁵発言（発言した人が不明）

^{6, 7, 8, 9}<http://www.jica.go.jp/global/poverty/report/020101.html>

貧困水準：一人当たり月収入

地域	2001-2005 (VND)	2005-2010 ^a (VND)
農村部・山岳・海島	80,000	180,000
平野	100,000	230,000
都市	150,000	250,000

本論文の編成

第2章は戦後日本の貧困と社会保障制度の拡充を研究し、第2次世界大戦～高度成長期における日本の状況を知り、社会保障制度の役割が理解する。また長野県における農業従事者・自営業者の生活をどのように保障できるかを研究する。

第3章はベトナムにおける経済状況や貧困問題を取上げる。本章の中心は Thanh Hoa 省やカンティウイ町における経済・社会状況を理解し、貧困原因を明確する。ここはデータ分析や調査・ヒアリングの手段として研究する。

第4章は現在ベトナムの制度や第2章からの成果をまとめ、カンティウイ町におくる人々の生活をどのように保障するかそして地域開発はどのようにするかを提案したいと思う。

参考文献

1. Amartya Sen 「貧困の克服～アジア発展の鍵は何か～」 集英社新書 2003年
2. 朝日新聞社編 「新しい農村 ’71」 昭和45年度朝日農業賞
3. 広井良典 「日本の社会保障」 岩波新書 2003年
4. 「ベトナム憲法」 2002年
5. 矢島鈞次・窪田光純 「ドイモイの国ベトナム」 同文館平成7年

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/chuki/chuki03_01_0401.html

http://www.hurights.or.jp/newsletter/J_NL/058/05.html#notel

<http://www.jica.go.jp/global/poverty/report/020101.html>

http://gc.sfc.keio.ac.jp/class/2004_14635/slides/06/8.html

<http://members.jcom.home.ne.jp/katoa/02sakamoto.htm>

<http://perso.wanadoo.fr/patrick.guenin/cancho/vnnews/faster.htm>

⁰Basket of food method

^a予定

ベトナム・カムティウイ町における貧困問題と社会保障制度
～戦後日本の制度代過程から学ぶ～

- I. はじめに
- II. 戦後日本の貧困と社会保障制度の拡充
 - 1. 第二次世界大戦直後の日本と貧困問題
 - 2. 高度成長期における社会保障制度の拡充
 - 3. 農業従事者・自営業者の生活保障 ～長野県事例として～
- III. ベトナムにおける貧困問題
 - 1. ベトナムの現状と貧困
 - 1.1 経済状況と貧困問題
 - ～1986年ドイモイ（刷新）政策から～
 - 1.2 経済格差
 - 1.2.1 カムティウイ町と中心街
 - 1.2.2 農業従事者・自営業者とサラリーマン
 - 1.3 教育状況
 - 1.3.1 子供の教育
 - 1.3.2 就職訓練
 - 2. カムティウイ町の貧困問題
 - 2.1 経済・社会状況と貧困問題
 - 2.2 生活調査
 - 2.3 ヒアリング
- IV. ベトナムへの提案
 - 1. 都市・農村部の格差
 - 2. 国民の生活を保障するため必要な設備
 - 3. カムティウイ町における人々の生活保護と町の活性化
 - 4. 産業政策と教育政策の運営
- V. おわりに

参考文献